

## 令和3年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	42	学校名	静岡中央高等学校（定）	校長名	杉山 忍
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

柱	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当部署
ア	<p>・ICT活用等により興味関心を引き出す授業、わかる授業の実践</p> <p>・生徒の実態に対応した履修指導体制の改善</p>	<p>・ICT活用等により「授業がわかる」生徒 75%以上を維持する</p> <p>・履修率が75%以上になる</p> <p>・授業においてICTを活用した教員が100%となる</p>	<p>・生徒の意識を高め、昨年度より高い履修率77.5%を達成した。</p> <p>・関係各課の連携、ICT活用推進委員会による、ICT活用について研修を実施した。</p>	A	<p>・普通教室常設のプロジェクトや chromebook 等のICT機器を使用する教員は確実に増えているが、活用する教員100%には至っていない。</p> <p>・ICTによる指導に適した教材や指導方法を各教科で検討したり、ICT活用推進委員会を計画的に開催したりして、ICT活用に関する情報を発信し共有する必要がある。</p>	<p>教務</p> <p>研修</p> <p>各教科</p>
	<p>・生徒の学力向上に向けた授業改善</p>	<p>・測定ツール等で把握した学力に基づき、授業改善に取り組んだ教員が90%以上になる</p>	<p>・国語、数学、外国語の各教科で、学力の測定を目的とした独自テストを実施した。</p>	B	<p>・年度当初の測定結果をもとに、習熟度別のグループ編制や授業内容の検討に活用した。</p> <p>・定時制在籍生徒の「個別最適な学び」の在り方について継続的に検討する。</p>	<p>教務</p> <p>各教科</p>
	<p>・進路意識を高め、早期に準備を始める進路指導体制の整備</p>	<p>・進路の情報を積極的に活用し主体的にキャリアデザインに取り組んでいる生徒が増加する</p>	<p>・外部機関や各年次と連携しながら総合的な学習（探究）の時間・特別活動等の時間を活用して、計画的にキャリア教育・キャリア支援を推進した。</p>	B	<p>・進路に係る様々な活動について、生徒の評価は概ね良好であった。校内外の連携が持続可能なものとなるよう、連携のあり方を再度検証し、修正・拡充を図りたい。</p> <p>・進路ノートを改訂し、その活用の促進を図る。</p> <p>・生徒が進路室を利活用する機会を促進する。</p>	<p>進路</p> <p>年次</p>
	<p>・次期学習指導要領実施に向けて生徒の実態に応じた教育課程の実施</p>	<p>・評価基準を決定し、令和4年度のシラバスを前期中に完成させる</p> <p>・月1回の教科会議を計画的に行い、期限内に評価基準を決定する</p>	<p>・教育課程の新旧対応表が完成し、今後科目によって旧教育課程から新教育課程に切り替わる際にも対応できる準備を整えた。</p>	A	<p>・教育課程の年度別進行の方向性が確定せず、前期中のシラバス完成は実現できなかった。後期の途中、履修指導開始時には完成し、全生徒に配布した。</p> <p>・毎月教科会議を開催した。各教科主任が会し、新教育課程の対応等について検討するよい機会とな</p>	<p>教務</p> <p>各教科</p>

様式第3号

					った。	
イ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代の変化に応じた教育を実現するための教職員の資質向上と研修広報の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修成果が教育活動の改善に役立ったと答える教職員の割合が70%以上になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染対策の影響で各種研修会がWEB研修等に切り替わったことで、勤務時間を有効活用する職員が増えた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度、定期訪問を活用し、授業参観の機会を確保することができた。</li> <li>・中堅教諭（採用から経験年数11年目の研修者）が他教諭の授業を積極的に参観できるような授業研究の仕組みを整備する。</li> </ul>	研修
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な教育的支援に関する理解の促進と連携体制の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期末、年度末の情報共有作業が職員間に定着し、共通理解が深まる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報のデータベース化により随時収集・発信し共有化が図られている。SC・SSW・保健室との連携強化、精神科医への相談事業の定着に加え、発達障害者支援センターのサポートを受け、特別な教育的支援に関する理解が進み、その後の生徒支援が一層深まった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育 Co を中心に授業支援体制が整ってきている。また、管理職、担任、年次主任、教育相談担当、養護教諭、SC、SSW、精神科医との情報共有を図ることで、共通認識を持ち、チームを組み役割を分担した生徒対応ができつつある。更に、学校全体で、「配慮から具体的な支援」へ、「在学中のみならず卒業後を見通した切れ目のない支援」へと繋げていくための検討が必要である。</li> <li>・合理的配慮の適用範囲に関する教職員間の共通認識、対象生徒の増加によるゼミ担任や教科担当の負担軽減が、今後の課題である。</li> </ul>	教育相談 保健 情報 年次
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の栄養となる読書活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室利用者数1日平均70人以上になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ対応による座席数の半減等により、図書室利用者数1日平均44.7人に留まった（昨年度53.1人）。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回発行「図書館だより」に「先生方のおすすめの1冊」を掲載、7月月別貸出冊数は前年度15%増。</li> <li>・履修指導期間等における「図書室ガイダンス」を再開し、図書室利用方法の周知を図る。</li> <li>・昼の放送やデジタルサイネージ等を活用し、図書室活用に関する積極的な広報活動を検討する。</li> </ul>	図書
ウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会・部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭の生徒の満足度が90%以上になる</li> <li>・部活動に意欲的に取り組んでいる生徒が70%以上になる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化発表週間の生徒の満足度は96.3%であった。</li> <li>・部活動に加入し、実際に活動している生徒の意欲は高い傾向にある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での制限はあったが、動画や実演、装飾など、昨年より部門が増えたことで、より多くの生徒の参加につながった。</li> <li>・コロナ禍明けの文化祭の在り方、より多くの生徒が参加でき、高校生活の思い出となる文化祭企画の工夫が課題。</li> </ul>	生徒

様式第3号

					・部活動により活動の差が大きく、生徒の意欲を引き出し切れていない。結果だけでなく、活動の様子を、学校HPで紹介していく。	
	・食習慣や健康に関する正しい知識を持たせる	・朝食摂取率が向上する ・薬物、飲酒、喫煙の依存性を理解できている	・朝食摂取率74.1%。学校全体で、前年度比0.3%増加した。 ・ICTを活用した薬学講座を実施した。	B	・入学当初は90%近くあった朝食摂取率が、1・2年次で減少する傾向があり、啓発や意識改善のための継続的な指導が必要である。	保健
	・豊かな心と健康な身体の育成	・基本的な生活習慣の確立、学校内の環境の整備ができている	・登校時の正門での継続指導の成果か、少しずつ生徒から挨拶ができるようになってきた。 ・昼休みや夕休みなど落ち着いて過ごす生徒が増えている。	B	・挨拶だけでなく、時間を守ることも生徒自身でできるようにしたい。 ・睡眠、食事、運動について「保健室だより」や保健室前の掲示を通して啓発を図ったが、基本的な生活習慣が確立されていない生徒が多い。本校の生徒に求める「基本的な生活習慣」を整理し、共通理解を図りたい。 ・ゼミ担任の思いが生徒に通じず、保護者との連携も薄い。授業や学校生活で全ての教職員で生徒を指導していく意識が必要である。	各ゼミ 生徒 保健
エ	・いじめの未然防止 ・人権意識の高揚	・いじめ事案の発生をゼロ件、学校生活が安全で安心できると答える生徒85%以上とする	・いじめ事案はゼロ件。  ・生徒個々の実情や「困り感」等に寄り添った対応をすることで、落ち着いた学校生活につながった。	B	・生徒間暴力や校内での窃盗があり、生徒が安心安全に学校生活を送ることができる環境に至っていない。 ・授業やゼミで継続的に人権意識の向上や情報モラルに関する指導を行う。 ・個々の生徒へのきめ細やかな対応と、全校生徒に対して啓発等の働きかけをし、誰にとっても安心できる居心地の良い学校づくりをしていく。 ・教職員間で生徒の情報を共有（=会話）し、「横の協働」関係を構築する。	生徒 研修 教育相談 年次
	・防災教育、安全教育、環境教育の推進	・南海トラフ地震、Jアラート等の記載事項を最新の内容に更新する	・「学校防災計画書」及び「危機管理マニュアル」に最新の内	B	・防災訓練(地震・火災による避難)を10月に、防災倉庫の確認と防災用品の更新を5月に実施した。	総務

様式第3号

			容を記載した。		・避難場所の選定、防災用品の備蓄方法や非常食の内容を検討する。	
	・情報処理システムの安定稼働	・在校生の履修指導に関するマニュアルを完成させる	・ゼミ担任用の履修登録手続き資料を提供した。	A	・履修登録における作業工程が確立されてきた。 ・全ての担当者が他の分担の作業も理解した。ただし、今後の人事によってはまだ不十分な面も残った。	情報
	・施設設備の保全に努め、安心安全な教育環境の整備	・校内での事故件数をゼロにする	・体育館外壁修繕他工事を約半年間実施。安全のうちに工期を終えた。	A	・校舎の老朽化が進み修繕箇所が年々増加しているため、優先順位を決めて実施する必要がある。	事務
	生涯学習講座・科目履修制度の一層の充実	・生涯学習講座・科目履修制度の再開に向けた準備を継続する	・昨年度に引き続き科目履修生・生涯学習講座は募集中止となった。	C	・コロナ禍の影響により、安全な実施が困難と判断し、来年度も募集中止とする予定である。	生涯学習
	・PTA活動の強化と保護者への支援(啓発)活動の実施	・保護者等への適切な情報提供を行う	・地区懇談会を3地区で実施し、保護者間で子供たちに対する共通の悩み等意見交換ができた。	B	・コロナ禍、最低限ではあるが、保護者間の直接的な交流活動が実施できた。 ・その一方で、保護者間又は保護者と教職員のコミュニケーションを図ることの難しさを感じた。	総務
オ	・入学希望者の発掘と情報提供の充実	・入学者選抜志願者数が定員以上になる	・令和3年度秋季選抜の志願者は28人。 ・令和4年度春季選抜の志願者数は未定。学校説明会への申込者数は、300人前後(募集定員216人)	B	・最新の入試関連情報を学校ホームページに随時掲載した。TwitterなどのSNSツールを使った情報発信の活用を検討したい。 ・学校案内、学校説明会チラシを全面改定した。入学希望者が知りたい情報を掲載できるよう、改善を図る。 ・コロナ禍での安全な実施のため、学校説明会参加者に事前申込をお願いした。結果、来校者数の把握、不測の事態に対する事前対応等に有効だった。 ・学校説明会時に上映する学校紹介用DVDの刷新を図りたい。今後、学校の規則等が変更されていく可能性があるため、情報発信の際には注意が必要である。	管理職 年次 教務 総務
カ	・10年後を見据えた学校	・将来構想委員会(P T含む)が月1	・日々の業務とその対応に追わ	C	・長期目標と短期目標、俯瞰的視野と微視的視点の	関係各課

様式第3号

	<p><b>改善・改革</b></p>	<p>回以上開催される          ・短期的に解決すべき学校体制の見直しの必要性を全職員が共有する          ・今後10年を見据えた学校のグランドデザインを学校全体で考える環境が整う</p>	<p>れ、今後10年を見据えるといった俯瞰的な視点での業務遂行には至らなかった。</p>		<p>いずれも意識する必要がある。その上で、分掌を横断して業務内容の見直しや精選をしていくことが大切であると考えている。</p>	
	<p><b>・多忙化の解消</b></p>	<p>・定時出退勤日の履行率が増加する          ・外部人材の活用実績が増加する</p>	<p>・時間外在校等時間が月80時間を超える教員はいない。          ・SC、SSW、精神科医の積極的な活用により、生徒や保護者の対応に関して有用な助言をいただくことができた。</p>	<p>B</p>	<p>・一部運営委員で時間外在校等時間が月45時間を超える教員がいる。          ・いずれの専門家も生徒支援において必要不可欠な存在である。次年度以降も、今年度を下回らない時間数での配置を切に願う。</p>	<p>関係各課</p>